

2016年5月4日

## 上向流式生物接触ろ過 U-BCF を活用した浄水処理手法の普及・実証事業のキックオフセミナー

2016年4月21日（木）、ハイフォン市水道公社にて、（株）ユニ・エレクトクス利光取締役、（株）松尾設計浅田顧問、北九州市上下水道局諫山局長、北九州市海外水ビジネス推進協議会竹澤会長、北九州市上下水道協会北島理事長、カオ・ライ・クアンベトナム上下水道協会総裁ほか各位、および国際協力機構（JICA）ベトナム事務所安蔵所員、関所員の出席の下、「上向流式生物接触ろ過（U-BCF）を活用した浄水処理手法の普及・実証事業」のキックオフセミナーが開催されました。

ハイフォン市は市の主な水源である河川の有機物による汚染が深刻な問題となっています。U-BCFは、薬品を使用せず、河川等で小石に付着した微生物が汚濁物質を取り込み分解する自然作用を、人工の構造物内で再現する高度浄水処理技術で、低ランニング・コスト、省スペースを特徴とします。ハイフォン市水道公社からも「最もランニング・コストが低くかつ有効であることがビン・バオ浄水場での実証結果を通じて確認された」と発表がありました。

また、北九州市上下水道局諫山局長からは「本普及・実証事業を通じ、ベトナム6都市で展開でき、大変うれしく思う」と述べられました。

本事業は、北九州市とハイフォン市とのこれまでの技術協力の延長で実施され、日越両者にウィン・ウィンの関係をもたらす事業であり、また、日越両国の関係企業および団体が出資する合資会社、JWT（Japan Advanced Water Technology Vietnam）の発展も期待されています。



キックオフセミナー